

令和5年第6回水俣市教育委員会定例会会議録

開催日	令和5年6月30日(金)		
場所	水俣市役所3階会議室		
会議種類	定例会		
出席委員	平尾 雅述	委員	
	堀 浄信	委員	
	山田 誠次	委員	
	本田 恵津子	委員	
教育長	小島 泰治		
欠席委員	なし		
事務局出席者	設楽 聡	教育課長	
	柴永 哲久	教育課学校教育室長	
	松元 草也	教育課生涯学習室長	
	田畑 和彦	教育課学校給食センター所長	
	森 安広	教育課指導主事	
	田上 朋史	教育課学校教育室次長	
	森山 結	教育課学校教育室主事	
署名者	平尾 雅述	委員	
	堀 浄信	委員	
	山田 誠次	委員	
	本田 恵津子	委員	
	小島 泰治	教育長	
傍聴者	無		
開会宣言	午後1時30分		
<p>1 非公開とする審議事項</p> <p>1) 協議第2号を非公開とすることについて 学校教育室</p> <p>2 報告</p> <p>1) 教育長報告</p> <p>2) 各課報告</p> <p>① 6月議会について 学校教育室</p> <p>② 第30回亀嶺旗争奪少年空手道大会に係る後援承認について 学校教育室</p> <p>③ もやい直し事業「もやい&amp;おれんじシアター」に係る後援承認について 生涯学習室</p> <p>3 議事</p> <p>1) 審議事項</p> <p>① 2023年度書き損じハガキ回収プログラムに係る名義後援について 学校教育室</p> <p>② 第17回蘇峰先生顕彰会に係る共催承認について 生涯学習室</p>			

2) 協議事項	
① 令和5年7月の教育委員会定例会の開催日程について	学校教育室
② 学校教育活動の現状について	学校教育室
4 その他	
1) 令和5年7月の行事予定について	学校教育室
<b>1 非公開とする審議事項</b>	

<b>【案件】</b>	協議第2号を非公開とすることについて
<b>【説明】</b> 榮永 哲久 学校教育室長	個人情報等を含むため、協議第2号は非公開を提案します。
各委員	はい。
<b>【採決】</b>	承認
<b>2 報告事項</b>	
<b>1) 教育長報告</b>	
小島 泰治教育長	<p>皆さんこんにちは。</p> <p>6月も最終日となりました。ぐずついた天気が続いておりましたが、今夜から明日の午前中にかけて警報級の大雨の予想となっています。大事に至らなければと思っているところです。今回は、4点報告します。</p> <p>1点目は、芦北水俣郡市中学校総合体育大会についてですが、6月17日（土）、18日（日）、24日（土）の三日間で開催されました。</p> <p>18日は、雨が少し降りましたが、大きな影響はなく、三日間で競技を終えることができました。</p> <p>私も少しずつですが殆どの会場を見て回りました。どの会場でも選手が真剣にプレーしていました。</p> <p>昨年もお話ししましたが、チーム数が減少し、サッカーは、決勝一試合のみで、また、以前は、2日間かけてやっていたものが1日で消化できるようになった種目もありました。社会体育移行についてもしっかりと進めていかなければならないと改めて思ったところです。</p> <p>水俣市の中学校で優勝した種目について、団体戦のみですが紹介します。</p> <p>軟式野球が、水俣の中学校4校の合同チーム、バスケットが男女とも水俣二中、卓球男子が水俣一中、剣道男子が水俣一中、ソフトテニス女子の水俣一中とバレー男子の水俣二中は、一チームしかないので郡市の予選なしで県大会出場となります。</p> <p>2点目は、中学校運動部活動の社会体育移行についてです。</p> <p>国は、令和5年度から令和7年度までを改革推進期間とし、まず、休日の部活動を地域移行するように示しています。</p> <p>本市において、今の段階で説明できることは次の2点です。</p> <p>一つ目ですが、本市においては、休日のみではなく、平日を含めた移行を</p>

	<p>検討すること。</p> <p>二つ目は、今年8月頃をめどに、学校関係者、スポーツ関係団体、文化芸術団体、PTA関係者、行政等移行に伴う関係者により構成される協議会の設置を計画しておりまして、この協議会において、本市の部活動の地域移行の方針の検討や移行に伴う課題への対応策について協議していくこと。以上になります。</p> <p>3点目は、学校訪問についてです。</p> <p>本年度の学校訪問が7月13日(木)の袋小学校を振り出しに始まります。各委員の皆様におかれましては、お気づきの点がありましたら、御指摘をよろしく申し上げます。</p> <p>4点目は、「みなまた未来ラボ」についてです。</p> <p>今年度は、中学生、高校生を対象とし、夏休み期間の3日間で実施します。内容は、8月3日(木)、4日(金)に水俣の今を学ぶということで、水俣の産業・経済、教育・文化等の現状について学び、水俣の未来に必要なことを考えます。</p> <p>8月9日(水)の午後、議員体験ということで、学習成果を議場で発表し、市の考え方をたずね、まちづくりについて提言します。</p> <p>平成28年度に子ども議会を実施していますが、議場での議員体験というのは、それ以来となります。お時間が許せば傍聴に来ていただければと思います。</p> <p>報告は、以上です。何か質問はございますか。</p>
平尾 雅述委員	学校訪問については、早めにスケジュールを教えてください。
森 安広 教育課指導主事	7月中旬には全校分を示せると思います。ちなみに、総合訪問の日程については、すでに分かっていますのでお知らせします。7月13日(木)が袋小学校、9月11日(月)が二中、10月23日(月)が久木野小、10月30日(月)が一小です。袋小学校は午後から行います。その他の学校は1か月前には分かると思います。
山田 誠次委員	中学校部活動地域移行の協議会は、体育系だけでなく、文科系もあると思いますので、これを機会に中学生が文化活動にも親しめるような、そんな話にもなればいいなと思います。
小島 泰治教育長	協議会の委員には、文化協会の方も入っていただく予定です。文科系部活動も併せて移行していきます。
本田 恵津子委員	コロナの感染が増えていますが、中体連大会で増えたということはありませんか。
小島 泰治教育長	そういう報告は上がってきていません。小学校で増えてきているようで、コロナだけでなくインフルエンザも増えています。
<b>2) 各課報告</b>	
報告第1号	6月議会について
榮永 哲久 学校教育室長 松元 草也 生涯学習室長 田畑 和彦 学校給食センター 所長	(配布資料をもとに説明) 学校教育室、生涯学習室、給食センター
小島 泰治教育長	何か質問はございますか。

堀 浄信委員	スクールバスは水俣市で何台保有していますか。
榮永 哲久 学校教育室長	7台あります。
堀 浄信委員	夏休み等の長期休業中も使うことはできるんですか。
榮永 哲久 学校教育室長	部活動や体験学習等でも使っています。
堀 浄信委員	要保護の方や支援が必要な引きこもりの方など、いわゆる交通弱者がいますので、そういう子供が孤立することがないように送迎サービスが必要だと思われま。スクールバスでの対応は難しいと思いますが、福祉的な対応だけでなく教育分野でも何かできないかなと思うところです。
山田 誠次委員	スクールバス以外にも、一定の条件を満たした遠距離通学者の方には交通費の助成があるようですが、それはみなくなるバスを利用したときに助成されますか。
榮永 哲久 学校教育室長	そうですね。公共交通機関を利用した場合の助成になります。
山田 誠次委員	助成額はどれくらいですか。また、バスの助成人数は何名ですか。
榮永 哲久 学校教育室長	後ほど回答します。
平尾 雅述委員	不登校支援は、いろいろと対応できているのでいいと思います。学校においても、こういう時はこういう選択肢があるということをあらかじめ示しておけばいいと思うし、そうすることにより、保護者も安心できるのではないのでしょうか。それと、登下校中の安全確保について、二小通学路を変更できたのはすごくよかったと思います。
森 安広 教育課指導主事	通学路の件は、学校でもどうにかならないかとずっと思っていました。三号線ですごく渋滞する場所ですので、そこも解消できたと思います。
平尾 雅述委員	直接、保護者が学校に車で送迎してくるのは、学校としては黙認している感じですか。
森 安広 教育課指導主事	けがをしている生徒などの場合には、送迎の許可書を出すこともあります。それ以外を一律に送迎不可としてしまうと、急な体調不良もありますし臨機応変な対応ができなくなりますので、現状のような感じになっております。
小島 泰治教育長	先ほどの不登校支援に関する選択肢の提示については、保護者会や入学者説明会において説明するということですか。
平尾 雅述委員	それがいいと思います。保護者が後々、慌てなくていいように、そして、学校に行けなくなるのが悪いことではないと理解してもらうことにもなると思います。
森 安広 教育課指導主事	入学者説明会においては、特性をお持ちの児童や心配な点がある場合などには、そのような話はしております。
堀 浄信委員	不登校のケースに関わって思うことは、保護者もしんどいということですね。なぜ学校に行かないのかと子供に言ってしまい、子供の心に傷をつけてしまうケースが多いので、初動が大事です。一度発した言葉は、子供の中で残ってしまいます。不登校が多くなってきている状況の中、決して学校に行かないでいいよということではなく、スクールソーシャルワーカーとも連携して、初動を間違えないように、保護者に示しておくべきです。昔はおじいちゃんやおばあちゃん等がいて、相談できる環境があったんですが、今は核

	<p>家族化も進み誰にも相談できない状況が多く見られます。だから例を挙げながら保護者に示していくのは、すごくいい方法の一つだと思います。先生方もそれを一緒に学んでいただければと思います。</p>
本田 恵津子委員	<p>スクールバスが運行している学校はどれくらいありますか。また、運行していない学校に、遠距離通学の対象となる児童がいた場合には、どう対応されますか。一人の場合でもスクールバスを出せますか。</p>
榮永 哲久 学校教育室長	<p>現在、6校に対してスクールバスを運行していますが、これは、学校再編成があった学校に対して行っている対応になります。久木野小、緑東中、葛渡小、一小、一中、湯出小の6校で運用しており、6月1日現在で約80名の生徒が利用しています。</p> <p>現在の運行ルート上ではない生徒に対しては、通学費の助成で対応しています。通学費助成の対象者は、小学校が14名、中学校は5名であり、そのうちバスを利用しているのが小学生4名になります。その他は自家用車や自転車を利用しています。自転車は中学生が1名です。</p>
小島 泰治教育長	<p>その生徒に対しては5,000円を補助しています。</p> <p>そもそも、スクールバスは学校再編成に伴い始めたものであり、遠距離通学者対策として始めた制度ではありません。</p> <p>なので、スクールバス沿線にない人には、みなくるバスの5か月分、自家用車や自転車利用者に対する5,000円の補助としております。</p>
山田 誠次委員	<p>幼保小中連携会議で出た話を紹介します。</p> <p>子供たちは家族の中で十分な愛着関係と信頼関係を持てた時ほど、意欲的に社会に出ていけると思われますが、それが築けていないのかなと感じることが多々あります。</p> <p>幼稚園や保育園の先生は、まずその部分に重きを置いて接していますが、小学校に進学すると、先生方が忙しい中、どこまでその部分に重きを置いていくことができるのか、難しいのかなと感じています。</p> <p>そんな時は、支援の先生など誰か大人がそばにいて支えてあげられたらいいと思います。家庭が難しい子ほど、家庭で愛着関係が築けないでしょうから、それを学校で築くことができれば、その後、高学年、中学校となったときに、それが礎となり社会との関わり方が出来上がってくるのではないかと思います。</p> <p>どこかの機会で保護者に対しても、愛着関係を築くことの重要性を説明できればいいのですが、それを言いすぎると過保護だと受け止められるかもしれません。しかし、それが子供たちの自立にも大事なことで、ただ自立しなさいと言っても子供は自立しません。</p> <p>一定期間は、保護者は子供の見方だよということをしっかりと自分の子供に伝えて、安心して生きていきなさいよというようにしてあげないと自立ができないと思います。そんなことが説明できる機会があればいいなと思います。</p> <p>支援学級を選択する場合にも、他の人にどう見られているかを感じることが大きな壁になっているかもしれません。それは一切引け目に感じることはありませんよと、それが事前に皆さんに十分な理解を得られるようにしておけば、いざそういう選択をすることになったときに、少しは心が軽くなるのかなと思います。それを地道に続けていって、時間はかかるかもしれませんが、思い込みや偏見をなくしていくことが一つの対応策ではないかと思います。</p>
報告第2号	第30回亀嶺旗争奪少年空手道大会に係る後援承認について
榮永 哲久	(配布資料をもとに説明)

学校教育室長	学校教育室
小島 泰治教育長	何か質問はございますか。
平尾 雅述委員	参加呼びかけはどの範囲までされていますか。また、参加人数はどれくらいですか。
榮永 哲久 学校教育室長	把握していませんので、後日回答します。
報告第3号	もやい直し事業「もやい&おれんじシアター」に係る後援承認に係る後援承認について
松元 草也 生涯学習室長	(配布資料をもとに説明) 生涯学習室
小島 泰治教育長	何か質問はございますか。
平尾 雅述委員	今回のイベントでは、会場での飲食可となっておりますが、これは今回が特別なのか、それとも常時飲食可なのか、どちらですか。
松元 草也 生涯学習室長	調べて後日回答します。
<b>3 議事</b>	
<b>1) 審議事項</b>	
議第1号	2023年度書き損じハガキ回収プログラムに係る名義後援について
榮永 哲久 学校教育室長	(配布資料をもとに説明) 学校教育室
小島 泰治教育長	何か質問はございますか。
山田 誠次委員	この件は昨年度も承認されていますか。
榮永 哲久 学校教育室長	はい、承認されています。
小島 泰治教育長	それではこの件は、御承認いただいてよろしいでしょうか。
各委員	はい。
<b>【採決】</b>	承認
議第2号	第17回蘇峰先生顕彰会に係る共催承認について
松元 草也 生涯学習室長	(配布資料をもとに説明) 学校教育室
小島 泰治教育長	何か質問はございますか。
各委員	なし。
小島 泰治教育長	それではこの件は、御承認いただいてよろしいでしょうか。
各委員	はい。
<b>【採決】</b>	承認

協議第1号	令和5年7月の教育委員会定例会の開催日程について
榮永 哲久 学校教育室長	(配布資料をもとに説明) 学校教育室
小島 泰治教育長	何か質問はございますか。
各委員	なし。
協議第2号	学校教育活動の現状について
森 安広 教育課指導主事	(報告の概要) ① 5月の小中学校長期欠席児童生徒報告について ② 5月の児童生徒事故・非行報告について ③ その他
	《非公開》
	《「学校教育活動の現状」における各教育委員の主な意見》
平尾 雅述委員	クラブチーム内でのトラブルは、学校に報告するだけでなく、地域移行の趣旨も踏まえ、指導者がチーム内で指導することも考えるべきだと思われる。
堀 浄信委員	いじめのケースで、被害者と加害者が距離をとるといのはすごく大事なことで、大人でも嫌な人は嫌であり、子供だから仲良くしなさいというのは無理がある。 家庭でもなく学校でもなく子供がどこかにつながる第三の居場所を増やしていく必要がある。 官民一体となって、大人側がつながり支援していく必要がある。教育委員会も含めて、それらが重層的につながり、実働として動いていきたい。
山田 誠次委員	学校活動以外の場所でのいじめや、違う学校の生徒とのいざこざなど、どうやって把握していくか、把握できた時にどのように対応できるのか、考える必要がある。 成人男性が関わっているトラブルもあるので、学校や年齢の枠を超えたトラブルをどのように解決していくのか。
本田 恵津子委員	中学校部活動の地域移行では、チーム内でのトラブルも想定されるので、相談窓口の設置が必要だと思われる。
<b>4 その他</b>	
1)	令和5年7月の行事予定について
森 安広 教育課指導主事	(配布資料をもとに説明) 学校教育室
小島 泰治教育長	何か質問はございますか。
各委員	なし。
2)	その他
小島 泰治教育長	本日の議題は全て終了しましたが、それ以外で何かありますか。
各委員	なし。

閉会宣言	午後 3 時 0 0 分
------	--------------